

# 私たちのまちづくり



別府市は、市民がいきいきと活躍し、いつまでもずっと暮らし続けたい、また、誰もが何度も訪れてみたいと思えるような個性と魅力にあふれたまちづくりをめざしています。さまざまな活動や交流を通じて輝き、地域のまちづくりに取り組んでいる皆さんを紹介します。

心に響け、俺たちのハーモニー♪

## 東荘園町青壮年会合唱団



### 男性だけの合唱団

東荘園自治会では、青壮年会のメンバーによる男性だけの合唱団が、地域のイベントや、文化祭などで活躍しています。

「明るく楽しく」をモットーに、平成24年に結成された合唱団は、30〜70歳代（平均年齢66歳）の男性23名が、週2回公民館に集まり、練習に励んでいます。

選曲やスケジュール管理などを担当している合唱団の団長の小倉博さんは、「地域の男性だけでなく、市内でも珍しいと思う。私たちのようなおじさんの歌う姿が、人の心を動かせればと思い、ステージを踏むことにさらに意識して、練習しています。」と話します。

### 地域を元気に

青壮年会は、東日本大震災後、自分たちも人に元気を届けて、感動してもらいたいという思いから、合唱をはじめました。

昨年は、活動目標としていた「別府市民合唱祭」に初出演しました。自分たちの達成感はもちろん、会場を訪れたたくさんの方から、「会場と演者が一体になっていた」と言われ、合唱団の絆が一層強まり、別府をますます元気にしたい、地域を盛り上げたいという気持ちが強くなりました。

今年の目標は、レパトリーをさらに増やし、ステージでよい声を出すことです。

「東荘園町青壮年会合唱団」のハーモニーが、地域の皆さんの心に響き、一体となることで、地域の活性化につなげ、さらには別府のまち全体を元気にすることにもつながっています。

発車オーライ！

## 株式会社 東山パレット



### 東山の未来へ

「東山パレット」は、東山地区の住民とその関係者が投資者となり、平成26年6月に設立されました。

自分たちが暮らす東山地区の農地を守り、毎日をいきいきと楽しく暮らしながら、農業の活性化を図るとともに、地域の課題を住民が自ら解決するための活動も行っています。

「東山パレット」の名称は、「東山の未来の絵を描く土台」という意味で、地域の小学生の応募により採用されました。

### 課題解決に向け

東山地区は、農業従事者の高齢化による担い手・後継者不足や、一人暮らし世帯の増加など、地域で多くの課題を抱えています。

そこで、住民が個人ではなく、地域で組織による活動を行うことで、農業活動を継続させるとともに地区の課題解決に向け動き出しました。

また、農業以外にも地区の交通手段の確保や活性化について、地域住民によって取り

### 地域を守る

現在、会社では、耕作ができなくなった農地の預かり管理や農作業（田んぼの耕起・田植え・収穫など）を請け負っています。

今後、農産物の加工や農村レストランの開設をめざすとともに、東山地区の伝統文化の継承や、地域住民の生活を守る活動として、一人世帯の見守りや福祉タクシーの運行など、行政と協働しながら取り組む予定です。



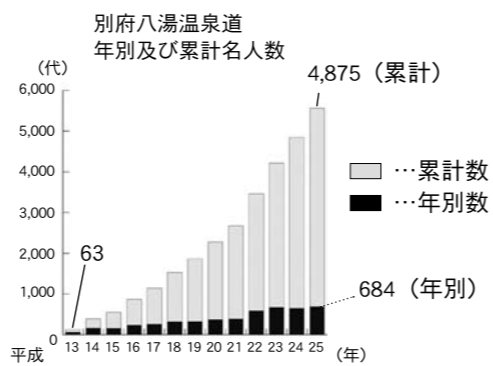
### 地域の活性化へ

会社組織として活動することで、人と人との関わりが深まり、地域の活性化へとつながっています。

高齢化が進展するなか、住民が助け合い、地域の組織として、農地保全や福祉サービスなどの取り組みを行うことで、地域を守り、盛り上げていくことが期待されます。



## 1日に1代の 温泉名人が誕生！ 別府八湯 温泉道



## 国際都市別府の縁の下の力もち

一般社団法人

### 別府インターナショナルプラザ (別府外国人観光案内クラブ)



## 外国人のよりどころ

留学生をはじめとする多くの外国人が暮らし、多くの外国人観光客が訪れる別府市で、外国人のよりどころとして活躍しているのが、別府インターナショナルプラザの皆さんです。外国人が何不自由なく一人歩きできるまちをめざし、昭和61年に「別府外国人観光客SOS室」として開設以来、ボランティアで案内業務を行ってきました。



増加する外国人観光客や在住外国人の相談に対応するため、平成26年4月に法人化されました。「JR別府駅構内」、「北浜の外国人観光客案内所」、「地獄蒸し工房鉄輪」の3か所で案内所を開設し、語学堪能な主婦などを中心に30名のスタッフが交代で、1日に約200名の外国人の応対をしています。平成19年度には、地域づくり総務大臣表彰を受けました。

## 国際交流に貢献

また、市内在住の外国人へ

の語学講座や相談、市内で開催されるイベントに通訳を派遣するなど、協働で市の国際交流に貢献しています。

スタッフは、自分の培ってきた語学力を活用し、まちづくりに貢献したいという強いボランティア精神のもと、トランプル相談などにも対応するため、正確な知識を学ぶための定例会を開催し学習に励んでいます。

## おもてなしを発信

事務局長の稲積京子さんは、「市民憲章には、お客様をあたたく迎えましょうと掲げられています。外国語が話せなくても旅行者のため、市民の皆さんは、一生懸命おもてなしをしたいと思います。誰もが外国人と交流し、案内できるようなまちになつて欲しい。」と言います。

別府市が推進しているローマ字の「ONSEN」ツアーの「ONSEN」ツアーのまちづくりは、お客様へのおもてなしの心です。多くの外国人を迎え入れるなか、縁の下の力もちとして、別府のために貢献し、別府から全国、世界へと「おもてなし」を広く発信しています。

## 八十八湯めぐり



「別府八湯温泉道」は、市民や観光客に温泉を楽しみながら、別府のすばらしさを感じてもらおうと、平成13年にはじまりました。

温泉道は、市観光協会などで販売しているスパポート(100円)を購入して、対象施設(平成26年10月末現在143湯)で、入湯記念のスタンプを押し、88種集めることで「温泉道名人」に認定されます。

## 温泉道の輪



認定された名人は、5,490代(平成26年10月末現在)に達し、現在では年間約680代の名人が誕生しています(※複数回取得者あり)。

平成20年には、名人有志による「別府八湯温泉道名人会」が結成され、温泉道の普及活動などを行うとともに、平成26年には、NPO法人「別府八湯温泉道名人会」として法人化され、さらに活動の幅を広げていきます。



## 温泉文化の発信

現在、名人会では、「別府八湯検定試験」、「こども温泉道」、「美人温泉道」のほか、ボランティアで地域の共同温泉の風呂掃除を手伝う「お掃除プロジェクト」など、さまざまな企画を展開しています。

また、障害のある人もない人も、誰もが温泉を楽しむことのできる別府のまちづくりを追求する、NPO法人「ゆびあ」主催の「車いす温泉道」の活動も活発化し、8代目の「車いす温泉道名人」も誕生しています。

温泉道で地域の温泉を楽しみながら、体験することにより、温泉を中心に、地域で交流の輪が広がっています。

また、地域から生の声を情報発信することで、別府特有の温泉文化の魅力を伝え、別府のまちに活力を与えています。皆さんも温泉道に参加して、別府温泉の魅力に再度ふれてみてはいかがでしょうか。

### 「ふるさと別府」 住んでよし 訪れてよしの まちづくり

別府市長  
濱田 博



皆さん、あけましておめでとうございます。

昨年、別府市は、市制施行90周年という節目の年を迎え、今年にかけて、行政、民間、市民で協働による記念事業を実施するなど、皆さんとともに90周年のお祝いをしています。

これまで、私は、市民が主役、市民目線による市政運営を基本に、別府のまちを根本から活性化したいとの思いで、「住んでよし 訪れてよし」の「ONSENツアー」のまちづくりに取り組んでまいりました。

住んでいる人にとって暮らしやすいまちは、訪れる人にとっても魅力的なまちであります。地域の皆さんが主役と

なつて毎日をいきいきと過ごすとともに、地域を盛り上げ、自分たちのまちは、自分たちでつくるというまちづくりを着実に実践していただいている姿にふれ、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、「地域の宝「温泉」を核とする総合産業としてのローマ字の「ONSENツアー」のまちづくりは、今や、行政・民間・市民による全市をあげた地域ぐるみの取り組みとなり、「おもてなしの心」として別府から全国・世界へと発信されています。

市制施行90周年の節目の年に、改めて、このまちづくりの取り組みがますます皆さんに浸透し、今後も継続していくことが、将来の別府のさらなる飛躍につながるものであると確信し、新たな気持ちで新年を迎えました。

今年も行政、民間、市民の皆さんが一体となって協働で、「住んでよし 訪れてよし」のまちづくりを實踐し、「活力ある魅力的なふるさと別府」を創出してまいりたいと思います。皆さん、どうぞ、よろしくお願いたします。